

岡山県高P連会報

第68号

contents

高P連会長挨拶	1
地区会長挨拶	2
県高P連・安全互助会総会報告	4
中四国高P連（山口大会）報告	5
全国高P連大会（静岡大会）報告	6
「東日本大震災」義援金活動について	7
県育英会東京寮生募集	7
生徒総合補償制度	8

発行 岡山県高等学校PTA連合会
 事務局 〒700-0824 岡山市北区内山下1-14-19
 TEL 086-234-1640 / FAX 086-234-1835
 URL <http://www.okayama-koupren.jp>
 E-mail okayama_koupren@ybb.ne.jp

『PTAの真の役割（生きる力を伝える）』

岡山県高等学校PTA連合会会長
岡山地区連合会会長

市川 始



本年6月より岡山県高等学校PTA連合会の会長を務めさせて頂いております岡山芳泉高校PTA会長の市川始でございます。

副会長をはじめとする役員の皆様、各高等学校の保護者の皆様、先生の皆様と協力しながら、子供のより良い教育環境を作っていくるように、誠心誠意頑張っております。どうかよろしくお願いいたします。

さて岡山県高P連の活動では、本年6月の研修会に岡山大学大学院 教育学研究科の塚本千秋先生をお招き致しまして、「現代の高校生心理」というご演題でご講演を頂きました。内容を簡単にまとめますと、常同性をポイントとする自閉症スペクトラム（AS

D）、衝動性がポイントの注意欠陥多動性障害（ADHD）、また学習障害（LD）についての客観的な認識とその対処方法を専門的なご見識からご説明頂きました。私のような素人でも内容が非常にわかりやすくとでも勉強になりました。この場をお借りしまして改めてお礼を申し上げますとともに、今後のPTA活動を行う上で、子供たちと接する際の参考にしていただきたいと思っております。

また本年7月に山口県下関市で開催されました「第59回 中国・四国地区高等学校PTA連合大会」に参加致しまして、文部科学省初等中等教育局の伊藤学司氏のご講演を拝聴致しました。その中でのお話で、2011年に小学校に入学したお子様が大人になった時、実にその65%は現在存在しない仕事に就き、そして2030年には週15時間労働ですむ計算になるとのことです。つまりこれは3人に1人しか仕事に就けない、残りの2人は社会保障生活を余儀なくされる？ような時代の到来を意味

することになるそうです。さらに全国高等学校PTA連合会の牧田会長のお言葉によりますと、AI（人工知能）の発達により、例えば人間の医師の下す判断よりも多大な臨床データを元に下すAIの判断の方が正しいという時代がまもなく到来することになるそうです。しかし、例えば末期のガン患者に、その患者さんの生活背景その他細かい空気を読み、いかに精神的なショックを受けさせないようにならなければいけないか、これがまさに人間力、つまり「生きる力」を持った生身の医師の真の仕事になるのだそうです。

私達親がPTA活動に全力で参加し、親達の団結力とパワー等の人間力を子供達に見せつけ、子供達に自分達を応援してくれていることを感じさせて子供達の人間力、つまり「生きる力」の向上につなげる。これがPTAの真の役割ではないかと思えます。そしてこのような厳しい将来を生き抜く子供達にとって一番必要なことは、人間力の向上とともに何よりも熱い教育、日々積み重ねていく基礎教育だと思っております。経済的な理由等で進学をあきらめないですむ、より公平で公正な熱い教育社会が到来することを願っております。

「楽しい P T A 活動」

旭東地区連合会会長 松 森 誠 司

本年度、西大寺高等学校 P T A 会長、旭東地区 P T A 連合会会長を務めさせて頂くことになり、あらためてその責任の重さを感じております。

これまでの先輩方の功績を受け継ぎつつ、皆さまのご支援を賜りながら更なる発展のために頑張りたいと思います。

西大寺高校 P T A 役員 O B の方は、協力的な方が多く毎年本校で 9 月に開催されます秋桜祭で模擬店のお手伝いや、現役 P T A 役員と O B 役員とで懇親会をしたりとパット楽しく集まり、いろいろな情報交換をしています。

昨年度より倉敷翔南高等学校の P T A 会長を、そして今年度、備南地区の会長を務めさせて頂くこととなりました。

日々の子育ての中で感じることは、子ども達の可能性の高さです。幼少期の頃は、昨日まで出来

子どもたちは、自分の選んだ場所で、自分の夢の実現のために一歩一歩進んでいます。子どもたちは多くの人と出会い、かわり合うことで成長していきます。私たち保護者も人と人とのつながりを大切にし、楽しい P T A 活動を通じて、子どもたちの夢の実現のためにしっかりとサポートしていきたいと思っています。

皆さんと一緒に旭東地区 P T A 連合会を盛り上げて行きたいと思っておりますので引き続きのご理解とご支援をよろしく願います。

備南地区連合会会長 笹 月 みな子

「子どもの可能性を信じて」

なかった事が次の日にはいきなり出来ているという事がよくあり、日々の成長の早さを感じる事ができました。そして成長していく中で出来る事、出来ない事が解ってきます。その中で自分の可能性に向かい、時には不可能な事に直

面し挫折を味わいながらも前進している姿を見ると、とてもたくましく思います。

私達親もその子と一緒に学びあつていくことで、親として人間

「目標への挑戦」

倉敷地区連合会会長 竹 本 賢 一

本年度の倉敷商業高等学校 P T A 会長、倉敷地区高等学校 P T A 連合会会長を務めさせて頂くことになりました。このような大

役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。皆様方のご指導、ご協力をいただきながら精一杯努めさせて頂いていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

私は、P T A 活動をしていく中で、何事についても楽しく活動をしていくことを心がけております。倉敷商業は、地域のビジネスリーダーの育成を目指す学校です。入学時に生徒には、自分の限界をきめつけないで 3 年間の高校生活の中で失敗を恐れずにいろいろなことに挑戦していくことの大切さを伝えております。そして、生徒それぞれが何か一つ目標を決め卒業までに達成できるように保

として成長しているのだと思います。子どもの可能性を信じ、子どもの想いを共感しながら助けたり、見守ったりしていければいいと思っております。

護者と先生方が協力しております。そうした環境の中で生徒は、資格取得や部活動に全力で挑戦しております。

心も体も大人へと大きく成長する高校生活の中で、生徒それぞれがいろいろなことに挑戦し個々の人間性を高め、自分の「夢」を實現させていくことが大切です。こうした挑戦を続ける中で人間的にも大きく成長できると確信しています。努力を積み重ね目標を達成する喜びを体験し、個々をスキルアップさせていくことを学んでいただきたいと思っております。この挑戦する精神を高校生活の中で大いに磨いて欲しいと思いつつ、P T A として地域教育に携わりたいと思っております。



「ビタミンのような存在に」

備西地区連合会会長 平松 晃 弘

本年度、備西地区連合会会長を務めさせていただくことになりました。

金光学園高等学校での P T A 会長就役が 2 年目に入り、何とか感覚が掴めてきたかなと思った矢先のこの大役就任に、再び身の引き締まる思いであります。

P T A 活動を通して保護者の方々と話題に上る最多のことの一つに高校生とスマホとの関係があります。

私も時折生徒徒達の登下校時に電車に乗りますが、多くの生徒が友人との会話よりもスマホ操作に夢中になっていました。正に今の時代を象徴するような光景で、ある意味友人との貴重な時間を失っているようで可哀想だなあと感じました。

「変える？変わる？」

備北地区連合会会長 徳田 勤 固

皆さま こんにちは 備北地区（高梁城南高校） P T A 会長の徳田です。

子どもの成長とともに、P T A（保護者）としての活動内容も変化しますが、高校の P T A 活動に参加してみているのは、会員皆様から賜る「子ども愛と学校愛」

たいていのことはスマホ一つあれば出来てしまうそんな時代だからこそ、保護者達が忙しい合間をぬって学校に出入りし、手間ひまかけて P T A 活動する背中を子ども達に見せることは何よりも大きな教育になると私は信じております。ダイレクトには伝わらなくてもゆっくりと時間をかけて浸透すると思っています。

そんな思いを胸にこれからも日々人との出会い・繋がりに感謝しつつ、子ども達のよりよい環境での充実した高校生活を支えるべく、皆さんと共に頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

そして「P T A 活動を楽しむ」というご支援ご協力の大きさです。

今、高等学校を取り巻く環境は、少子化の影響を受け学校再編が進むなど大変厳しい状況にあり、学校だけで対応していくことはとても難しいと思います。子ども達やその保護者は、「この学校に進学

したい。」という強い思いをもって選んでくれています。そうした思いに、私たちはどう答えればよいのでしょうか。

こうした中で感じたことが、変えられないもの（変えてはいけないもの）と、勇気を出せば変えられるもの。そして、労力がかかっても変えなくてはいけない時がある。

「変化」

美作地区連合会会長 橋野 耕 一

昨年度より津山高等学校の P T A 会長を、並びに美作地区の会長を務めさせていただいております。

平素より、皆様には P T A 活動に多大なご尽力をいただき、ありがとうございます。

今年の春も、胸躍らせ入学してきた 1 年生。部活、生徒会等で学校の中心として活躍する 2 年生、これから訪れる受験、就職に期待と不安を抱えている 3 年生。どの高校もこのような集団で生活しています。

春になると、花畑を蝶が飛んでいるのを見かけます。しかし、その数週間前には幼虫として足元を這っている姿を見かけていました。体全体が緑色のものや、とてもカラフルな色のものが数週間後には飛んでいるとは想像が付きません。

ということでした。私たち P T A としてできること。今、すべきことは何かを考えながら 1 年間活動していきたいと考えています。微力ながら、皆様と共に P T A 活動を楽しみたいと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

幼児から小学校、中学校を経て高校生になり、体も心もグッと大人に近づき、子ども達は今まさに、思春期、反抗期を経て社会へはばたく準備をしています。数年後には、今現在想像もしていない仕事を選び、今の時点で顔も名前も知らない先輩や後輩の中で生活しているでしょう。保護者としても、考えるだけでワクワクしてきます。

蝶のように今の幼虫やサナギの姿だけを見れば、未来の空を飛び舞う姿を想像することは難しいのです。まして、幼虫やサナギ自身に自らの変化を予知することはできません。我々保護者が、「変化することが出来る」「今の行動が変化の元になる」ことを子どもたちに明確に伝え続けることが大切だと思います。

岡山県高等学校PTA連合会及び岡山県高等学校PTA安全互助会総会報告

平成29年6月23日(金)ピュアリティまきびにおいて開催しました。

まず、浜崎会長が、昨年岡山で開催されたインターハイや18歳に選挙権が引き下げられたことなどを振り返りながら一年間の感謝の意を込めた挨拶をされ、続いて、県教育庁鎌本教育次長の御挨拶をいただきました。引き続き岡山県高等学校PTA連合会功労者表彰を行いました。

その後議事に入り、平成28年度事業報告・会計決算報告・監査報告、平成29年度役員案・事業計画案・会計予算案について協議を行い承認をいただきました。



平成29年度役員

会長

市川 始 (岡山芳泉P)

副会長

吉井 久人 (私学保護者会P)

國府島 貞司 (岡山芳泉T)

笹月 みな子 (倉敷翔南P)

竹本 賢一 (倉敷商業P)

平松 晃弘 (金光学園P)

橋野 耕一 (津山P)

監事

松森 誠司 (西大寺P)

徳田 勤固 (高梁城南P)

平賢 嗣 (津山東P)



また、総会閉会后、研修会を実施いたしました。

研修会

【講演】

「現代の高校生の心理」

〜どのようにかかわるか〜

岡山大学院教育学研究科

教授 塚本 千秋氏

教育臨床心理を通して、発達障害や不登校の生徒から見えてくる現在の高校生の心理を説明していただきました。



現代の子どもたちは、良い子であるが「冷めている(燃えない)」「覚めている(現実的)」「醒めている(諦めて)」といった三つの特徴がある。また、今の生活の繰

返しに満足していて他人との比較もしない。想像力が乏しく発達障害的であり、大人からのメッセージは届きにくい。

子どもたちに想像力をつけさせるためには、五感による体験の積み重ねが必要であり、その関わり方として、言葉の意味は通じないという前提で関係の構築を試みる。そして、短い賞賛を繰り返すことによって自己肯定感が育つのを待つということを教わりました。

功労者表彰受賞者

≪敬称略≫

※表彰状受賞者 (7名)

- 久戸 瀨 敬子 (岡山大安寺)
- 安田 友美 (創志学園)
- 歳森 宏 (西大寺)
- 小倉 啓史 (岡山御津)
- 黒瀬 一雄 (岡山芸館)
- 光田 嘉文 (倉敷翠岡)
- 山本 英司 (笠岡)

※感謝状受賞者 (114名)

- 則武 透 (岡山朝日)
- 伏見 健一郎 (岡山操山)
- 窪田 真由美 (岡山大安寺)

ニューヨークタイムズに載った記事の紹介で、2011年に小学校へ入学した子どもが大人になった時、その65%は現在存在しない職業に就いているだろう。また、2030年までには半分程度の職業が自動化され、週15時間程度働けば済むようになり3分の2の人は社会保障生活余儀なくされるのではないかといわれている。



また、日本の高校生の学力は国際的に上位に位置しているが、勉強が楽しいと思っている子どもは少なく、勉強と実社会との関連がわからず我慢して勉強している子が多い。さらに、能力はあるが自己肯定感が低い、というのが日本の高校生の現状である。

最後に、PTAは多士済々な人材の宝庫であり、子どもたちを支援する場もあるが大人が学ぶ場でもあることを再認識してほしい。

い、との注文がありました。午後からは、下関舞踏協会の方々による伝統芸能「海峡上臈絵巻」の上演があり、その後、研究協議が行われました。

●研究協議
●学校教育とPTA
「高校存続と魅力化」



「地域と学校を結ぶPTA」
島根県立矢上高等学校PTA

中山間部の小規模校が高校再編による学校存続の危機にあり、PTAとして存続のための署名活動を行ったり学校の魅力作りを人的・物的に支援している様子の発表がありました。



オープンスクールにおいて県外からの入学希望者の保護者との交流を行うことなどにより、熱心な保

護者が増え活動が充実して良い刺激を受けているとのことでした。

●家庭教育とPTA

「学校と繋がり、子どもと繋がる」

～学校とともに育む人間力～
香川県立高瀬高等学校PTA

挨拶・言葉遣い・笑顔など基本的な生活習慣徹底のための様々な生活指導が行われており、PTAとしても大学のオープンキャンパスや学校祭への積極的参加などの「応援してくれている」と感じる姿を見せることにより、子どもたちの人間力の向上を目標にしているとのことでした。

●山口県高P連アクションプラン

ROAD TO 2020

山口県公立高等学校PTA連合会

高校生を対象に大学生のボランティアスタッフと対話する「カトリ場」と保護者・教職員等で意見交換を行う「熟議」を普及・継続することにより、高校生に関わる課題を地域の大人同士で共有し解決する応援団の実現を目指しているとのことでした。

最後に、来年の開催予定の愛媛県から「まっとうけんね!」という言葉で大会は閉幕しました。

第67回全国高等学校PTA連合会大会

(静岡大会) 報告

平成29年8月24日(木)25日(金)静岡県小笠山総合運動公園エコパアリーナを主会場に開催し、全国から9384人(岡山県から137名)が参加しました。大会テーマは「有徳の人づくり～未来のために行動する『一人』を育てよう」。有徳の人とは、「個人と

して自立した人・人との関わり合いを大切にする人・よりよい社会づくりに参画し、行動する人」の事を意味します。子どもたちが高い志をもって学び、未来を切り拓く力を養う。そのような環境を整えていくことがPTAの使命であり、社会の責務

であると考え、大人ができる事は何かを7つの分科会場で事例発表による討議が行われました。開会式終了後、次の団体・個人が表彰されました。
おめでとございます。

【優良PTA文部科学大臣表彰】

県立井原高等学校PTA

【全国会長表彰】

*個人

光田 嘉文 氏
(倉敷翠松高等学校
前PTA会長)

山本 英司 氏
(県立笠岡高等学校
前PTA会長)

*団体

県立倉敷南高等学校PTA
岡山県作陽高等学校PTA

前PTA会長)

*役員

濱崎 隆也 氏
(岡山県高等学校PTA連合会
前会長)



◆基調講演

講師 静岡大学名誉教授

小和田 哲男 氏

演題 「戦国武将に学ぶ子育てと人づくり」

歴史は過去のことだけではなく、未来へと繋がっています。先人たちの生きざまから未来を生きるヒントを掴むことが大切であり、戦国時代、勝ち組の武将達に共通するのは、子育てと人づくりに成功しているという点です。

褒め方、叱り方など武将たちの残した言葉から子育て、人作りのヒントや教育は学校教育だけではなく生涯教育も重要であり、「自分磨き」をした人は能力を発揮できたと教えていただきました。



◆記念講演

講師 俳優

寛 利夫 氏

演題 「寛 利夫 これがオレの生きザマだ！」

枠にはまらないマルチな才能をお持ちである寛さんの生い立ち、家族関係、高校時代の思い出等、楽しくお話くださいました。子ども達に、ある時は声をかけ、ある時はそっとしておくなど長い目で見守ってもらいたいと語られました。



なお、来年度の第68回大会は、平成30年8月20日(月)～21日(火)に佐賀県総合体育館大競技場(主会場)にて開催されます。



●全国単位PTA広報紙展示
*県立和気閑谷高等学校
「わけのわ」
*金光学園高等学校
「やつなみ」

「東日本大震災」
義援金活動について

災害義援金につきましては、多くの善意が寄せられ、皆様のご支援ご協力に心より御礼を申し上げます。それぞれ全国高等学校PTA連合会へ送らせていただき、被災された生徒の支援に活用されております。

震災発生から一定の時間が経過しましたが、当連合会におきましても支援を継続いたしますので、趣旨にご賛同いただき、引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

岡山県育英会東京寮
寮生募集



交通：JR品川駅まで徒歩10分
寮費：月額3万6千円(朝夕2食付)
応募資格：県内居住世帯で東京周辺の大学に新入学予定の男子
問合せ：(公財)岡山県育英会
☎(086)226-7598

保険金請求、
忘れていませんか？

今からでも
ご請求できます!!

岡山県高等学校PTA連合会 生徒総合補償制度

(学生・子ども総合保険)

ご加入の保護者の皆さまへ

重要

こんなときにお役に立ちます。

■さまざまなケガを補償

生徒の不慮の事故によるケガを24時間365日補償します。

- 通学途上(自転車、徒歩、バス、電車等)のケガ
- 体育授業中やクラブ活動中のケガ
- 学校外での日常生活(ご家庭内、スポーツやレジャー中等)でのケガ



■賠償責任

生徒およびご家族が過って他人にケガをさせたり、他人の財物を壊して、法律上の損害賠償責任を負われた場合



■学資費用

生徒の扶養者が偶然な事故で亡くなったり、重度後遺障害が生じて扶養できなくなった場合

※具体的な補償内容は、プランごとに異なります。詳しくはパンフレットをご覧ください。

※上記補償内容については、主な場合を記載しております。具体的な内容については、岡山県高等学校PTA連合会のホームページをご覧ください。頂くか下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

生活サポートサービス

ご相談無料

日常生活に役立つさまざまなサービスを電話にてご利用いただけます。学生・子ども総合保険など*にご加入のお客さまとその同居のご家族の方専用サービスです。*詳しくは、取扱代理店または引受保険会社までお問い合わせください。

健康・医療

- 健康・医療相談
- 医療機関総合情報提供 等

介護

- 介護に関する情報提供
- 介護に関する悩み相談 等

暮らしの相談

- 暮らしのトラブル相談
- 暮らしの税務相談

情報提供・
紹介サービス

- 子育て相談(12才以下)
- 暮らしの情報提供 等

□ 三井住友海上ホームページの「健康・介護ステーション」でも健康・医療、介護に関する情報をご提供します。

*サービス受付のご利用時間・電話番号(通話料無料)は、ご加入後にお届けする加入者証の案内などをご覧ください。*お使いの電話回線により、ご利用できない場合があります。また、ご利用は日本国内からに限ります。*本サービスは、引受保険会社の提携サービス会社にてご提供します。海外に関するご相談など、ご相談内容によってはご対応できない場合があります。*本サービスは予告なく変更・中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせは

引受幹事保険会社

三井住友海上火災保険株式会社 岡山支店 岡山第一支社
〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL 086-225-0835 担当：中野・梅原
取扱代理店：MS岡山株式会社
〒700-8660 岡山市北区幸町8-22 TEL 086-221-2576

引受保険会社

三井住友海上火災保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
Chubb損害保険株式会社

事故の際のご連絡先

24時間365日事故受付サービス「三井住友海上事故受付センター」
0120-258-189(無料)

事故は いち早く

ご連絡の際は、「岡山県高等学校PTA連合会の学生・子ども総合保険に加入しています」という旨をお申し出ください。

保険金の請求に関するお問い合わせ 三井住友海上火災保険株式会社 岡山火災新種保険金お支払いセンター
TEL 086-225-9002 月曜日から金曜日(祝日除く) 9:00~17:00